

British Periodicals で見る、19 世紀の英国文化

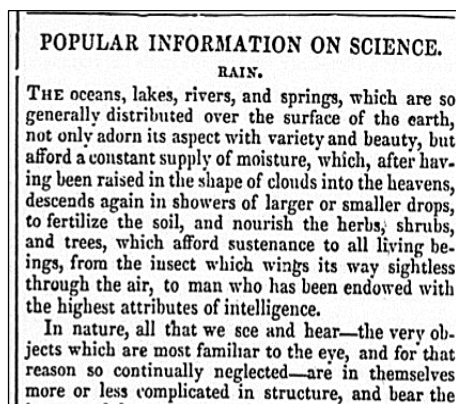
～大衆の教養と娯楽～

British Periodicals (BP) は、17 世紀から 20 世紀初頭にかけて英国で刊行された定期刊行物 約 470 誌を収録するデータベースです。本稿では、BP が提供する多種多様な雑誌の中から、19 世紀英国の人々の生活に楽しみを添えた雑誌を選び、その記事とともにご紹介します。

◆初期の家庭向け雑誌◆

18 世紀に、定期刊行物は主に知識階級のものでしたが、1830 年代に教養・娯楽のための軽い読み物を提供する比較的安価な家庭向けの雑誌が登場し、大衆の人気を集めました。

Chambers's Journal (1832-1900)



「科学の一般知識」—海洋、湖、河川、泉は...景観に変化と美しさをもたらすだけでなく、空気中に水分を供給している。それは大空に雲となって浮かび、大小の雨粒となって降り注いで大地を潤し... (1833)

Knight's Penny Magazine (1832-1846)

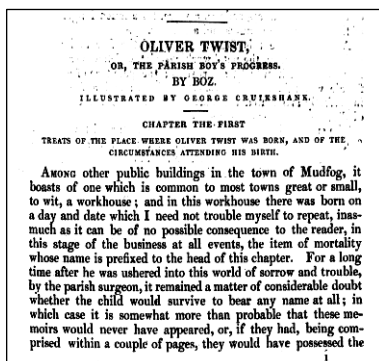


詩「大晦日」—*OLD Year, thou hast but an hour to stay, / Another Hour, Old Year; / Shall we give that hour to feast and play...* (1846)

◆編集者ディケンズ◆

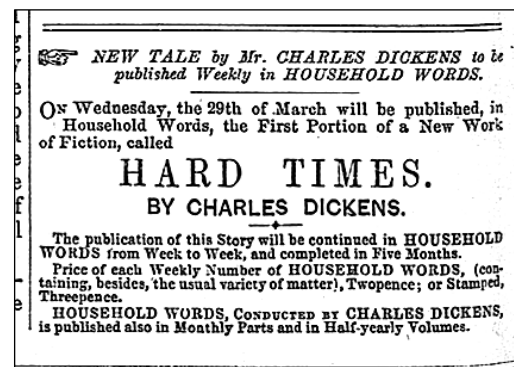
作家として健筆をふるったディケンズは、こうした家庭向け雑誌の編集者としても大いに活躍しました。

Bentley's Miscellany (1837-1868)



編集長でもあったディケンズが BOZ の筆名で連載した「オリヴァー・トゥイスト」の第一章。オリヴァー・トゥイストの生まれた土地とその出生を扱う、との注釈がある。(1837)

Household Words / All the Year Round (1850-1895)



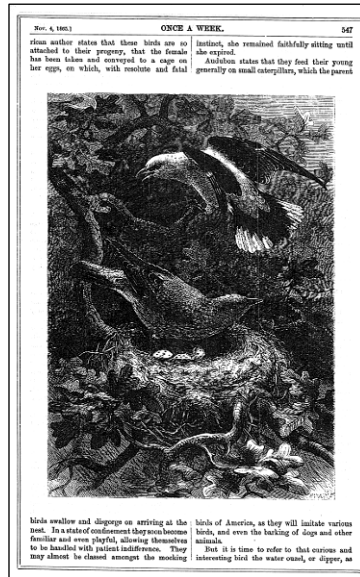
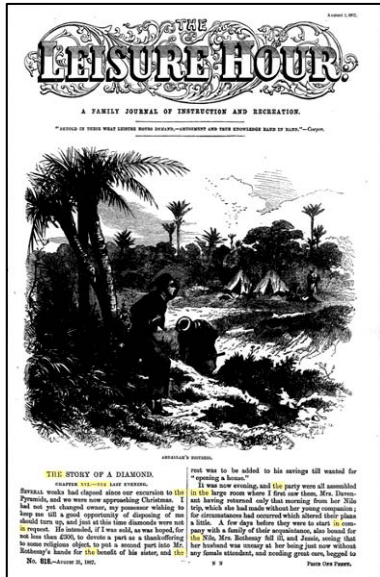
ディケンズが自ら経営・編集した雑誌。「Mr. ディケンズの新作が本誌に登場します。3月29日(水)発売の Household Words に、新作「困難な時代」の第一章を掲載します。続編は毎週掲載され、5か月で完結する予定です。」(1854)

◆挿し絵の黄金時代◆

1860 年ごろには、読み物に優れた挿絵を融合させた、華やかな誌面の雑誌が登場します。

Leisure Hour (1852-1905)

Once a Week (1859-1880)



「ダイヤモンドの物語」—我々がピラミッドに向けて出発して数週間がたち、クリスマスが近づいていた。...(1867)

「水辺の鳥たち」—それはもう数年も前になるが、私はブレックノックシャーの町から少し離れた友人の城に滞在し、ワイ川でサケ釣りをしていた。...(1865)

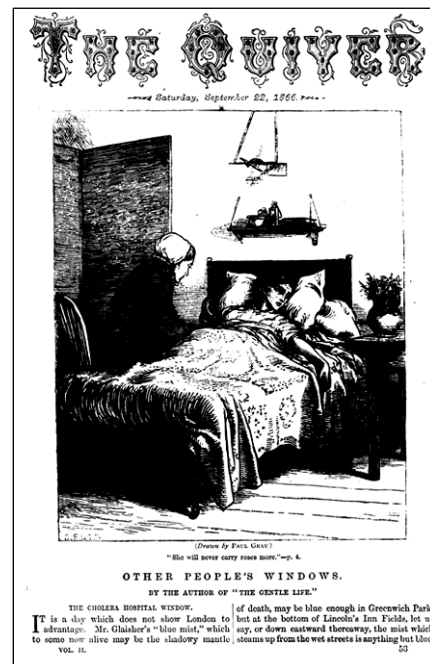
詩「水の上で」— *On the water, on the water; / While the summer days were fair; / Whispering words in softest accents...* (1859)

◆信仰と道徳◆

家庭における信仰を勧め、道徳心を涵養することを目的とした家庭向け雑誌は、広い支持を得ました。

Good Words (1860-1906)

Quiver (1861-1926)



フローレンス・ナイチンゲール「ウナとライオン」(1868)
「この人をみよ」(1868)

「コレラの少女」—彼女がバラを手にすることはもうありません。(1866)

◆生活の楽しみ◆

その一方では、ファッションや劇場のレビュー、休日の過ごし方といった記事で、都市生活の楽しみを謳歌する雑誌も人気を博しました。

London Society (1862-1898)

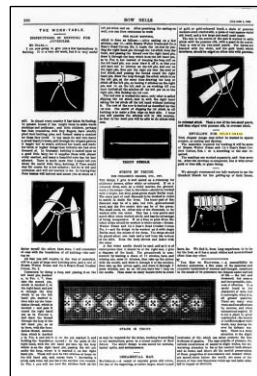
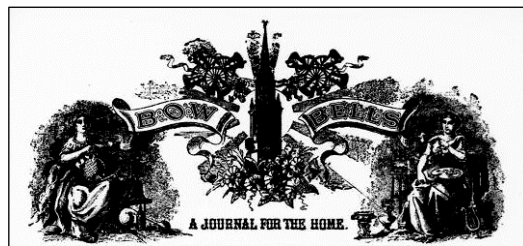


保養地の女性たちの帽子(1863)



「イースター前のパリ」(1866)

Bow Bells (1864-1897)

雑誌のロゴ
ヘッドドレス/手芸のページ(1871,65)

◆刺激的な読み物◆

世紀が終わりに近づくにつれ、大衆向けの雑誌は、読者により刺激的な娯楽を供するようになりました。

Strand Magazine (1891-1906)



「シャーロック・ホームズの冒険」(1892)

Nash's Pall Mall Magazine (1893-1935)



「悪魔の幸運」—彼はストリキニーネをポケットにすべりこませた。(1893)

次号の KINOLINE では、BP に収録される批評誌、文芸誌をご紹介します。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。